

\*\* 2009年9月改訂(第7版)

\* 2008年1月改訂

日本標準商品分類番号

8 7 2 7 9

う蝕予防フッ化物歯面塗布剤

\*\* **フルオール<sup>®</sup>液歯科用2%**

(リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液)

** 承認番号	22100AMX00452
** 保険適用	2009年9月
販売開始	1966年12月
再評価結果	1985年7月

貯 法：遮光・プラスチック製気密容器

\*使用期限：容器に表示

## 【組成・性状】

### 1. 組成

1mL中

有効成分	フッ化ナトリウム	20mg
添加物	リン酸、サッカリンナトリウム水和物	

### 2. 性状

本剤は無色澄明な液である。本剤は酸性である。

## 【効能・効果】

齲蝕の予防

## 【用法・用量】

通常、歯面に対し年間1～2回次の方法により実施する。

### 〈塗布方法〉

#### 1. 一般的方法

##### (1) 歯面の清掃

歯ブラシ等によって口腔内を十分に清掃してから、必要ある時は塗布面の歯石を除去し、ポリッシングブラシ又はポリッシングカップに研磨剤をつけて歯面から歯垢(苔)を除くようにする。

##### (2) 防湿・乾燥

巻綿花を用いて塗布する歯を孤立させ、綿球で唾液を拭った後、圧縮空気で乾燥する。

##### (3) 薬液の塗布

薬液(2mL以下)に浸した脱脂綿、ガーゼ等で歯面をなるべく長く薬液に浸潤させる。塗布後約30分間は洗口させないで唾液を吐かせる程度にとどめる。

#### 2. トレー法

##### (1) 歯面の清掃

一般的方法と同様に行う。

##### (2) トレーの選択及び適合

歯(列)弓に適合するトレーを選び、このトレーの大きさに合ったゴム袋及び塗布紙をセットする。

##### (3) 薬液の浸潤

塗布紙にスポイトで薬液(2mL以下)を浸み込ませる。

##### (4) トレーの装着

トレーを口腔内に挿入し、軽く歯列に圧接して約4分間かませる。

##### (5) トレーの除去

トレーをはずし、塗布紙を除去する。塗布後約30分間は洗口させないで唾液を吐かせる程度にとどめる。

## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

塗布薬液量は2mL以下とし、幼小児においては必要最小限度にとどめること。

### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻 度 不 明
過敏症	過敏症状があらわれたとの報告があるので、そのような場合には、ただちに塗布を中止すること。

### 3. 適用上の注意

- 1) 齲蝕の予防(歯面塗布)にのみ使用すること。
- 2) 腐蝕性があるので、できるだけ口腔粘膜に薬液が触れないよう注意すること。
- 3) 塗布後約30分間は洗口させないこと。ただし、薬液の残留する唾液は吐き出させ、飲み込まないように指示すること。
- 4) 誤って飲用し、嘔吐、腹痛、下痢等の急性中毒症状を起した場合には、牛乳、グルコン酸カルシウム水和物等のカルシウム剤を応急的に服用させ、医師の診療を受けさせること。
- 5) 歯科医師又はその指導下で歯科衛生士が取扱うこと。

### 4. その他の注意

In vitro試験において、本剤との接触により、チタン、チタン合金(Ti-6Al-4V)又はケイ素含有材料(歯科用ガラスイオノマーセメント、歯科用コンポジットレジン充填材等)が変色したり表面性状に影響を及ぼすとの報告がある。<sup>1)、2)</sup>

## 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：フッ化ナトリウム

分子式：NaF

分子量：41.99

性 状：白色の結晶性粉末で、においはない。

水にやや溶けやすい。

## 【取扱い上の注意】

「貯法の項」参照

## 【包 装】

100 mL

## 【主要文献】

1) 小瀬木克英他：歯科学報, 96(4)：293, 1996

2) 安藤良彦：日歯保誌, 33(3)：690, 1990

## \*【文献請求先】

株式会社ビーブランド・メディコーデンタル

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路5丁目20番19号

電話 (06) 6370-4182(代) FAX (06) 6370-4184(代)

発 売 元



株式会社 ビーブランド・メディコーデンタル  
大阪市東淀川区西淡路5丁目20番19号

製造販売元



東洋製薬化成株式会社  
大阪市鶴見区鶴見2丁目5番4号

DRML-1S